

会計名			市道01-4号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	スマートIC整備係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	既存道路の拡幅整備や、県道岡崎豊明線から主要地方道名古屋岡崎線までの道路整備を行うことで、歩行者の安全と円滑な交通を確保する。		主たる内容	市道01-4号線（起点：井ヶ谷町池之浦～終点：今川町交差点）の道路整備 延長 3,200m 幅員 13.5～15.0m （両側歩道 幅員 2.5～3.5m）					
	位置づけ	関連計画 刈谷市都市計画マスタープラン、刈谷市都市交通戦略 根拠法令 道路法								
	対象者	市民		事業期間	平成11年度～令和5年度					
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実績 A 実績 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		・道路新設改良工事 220m ・交差点改良工事 1箇所 ・用地取得 9,390㎡ （H29繰越分） ・用地取得 5,430㎡		・道路新設改良工事 270m ・交差点改良工事 1箇所 ・用地取得 118㎡ （H30繰越分） ・用地取得 4,501㎡		・道路新設改良工事 276m ・用地取得 878㎡ （R1繰越分） ・橋りょう工事 1橋 ・用地取得 281㎡		・道路新設改良工事 234m ・用地取得 80㎡ （R2繰越分） ・橋りょう工事 1橋 ・交差点改良工事 1箇所		
		成果	道路新設改良工事を実施し、道路整備率の進捗を図ることができた。							
課題		道路管理者や河川管理者との継続的な協議を実施し、計画的な事業進捗を図る必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度			
活動指標		道路用地の面積取得率（％）		89.1	94.0	96.6	97.5	100		
活動指標		道路整備率（％）		67.9	76.3	84.9	92.3	100		
他市との比較検証										
C 事業コスト 建設事業		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費①		690,600	502,238	504,329	779,115	合計 504,328,523 円			
	財源	特定財源	508,390	442,575	415,334	640,557	需用費	21,400 円		
		一般財源	182,210	59,663	88,995	138,558	委託料	14,742,156 円		
	職員人件費②		19,443	13,208	16,276	13,560	工事請負費	414,292,500 円		
	総事業費（①+②）		710,043	515,446	520,605	792,675	公有財産購入費	43,397,354 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称		負担金、補助及び交付金	8,822,018 円	
2年度までの累積事業費		0		社会資本整備総合交付金		補償、補填及び賠償金	23,053,095 円			
4年度以降の事業費見込		0		道路新設改良事業債						
				都市交通施設整備基金						

会計名			市道01-4号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	スマートIC整備係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	当該路線は国道1号線と連絡する重要な路線であり、交通量が多い上に大型車の混入率が高い。また一部区間は通学路として利用されている。しかし、車線幅員や歩道幅員が狭く、交差点で慢性的な交通渋滞が発生しているため、交通の円滑化と安全性の向上を図る必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	社会資本整備総合交付金を活用することで、建設コストの低減に努めている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	ゆとりある暮らしを支える生活基盤として、道路の拡幅整備や交差点改良を行うことで、交通安全や生活利便性の向上を図るとともに企業の産業活動を促進する。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	道路の整備は、県道岡崎豊明線との交差点改良、及びバイパス区間は道路の拡幅が完了しており、交差点の渋滞緩和と旧道沿線地区の良好な住環境の形成（騒音や交通安全確保）に一定の効果がある。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今川町交差点及び北側延伸区間について道路工事を進める。					

会計名			市道01-40号線他道路新設改良事業				担当部	建設部
一般会計							担当課	道路建設課
款	項	目					担当係	道路整備係
8	2	3						
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	都市環境					
		基本施策	道路・交通					
		施策の内容	道路の整備					
	目的	バイパス機能を持った幹線道路を整備することにより、慢性的な交通渋滞を緩和し、市街地に流入する通過交通を抑制する。		主たる内容	市道01-40号線（起点：中手町3丁目～終点：熊野町6丁目）の道路整備 延長 1,600m 幅員 12.0～15.5m			
	位置づけ	関連計画 刈谷市都市計画マスタープラン、刈谷市都市交通戦略						
		根拠法令 道路法						
		対象者	市民	事業期間	平成11年度～令和8年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					
	BDO実績 実施V	30年度実績		元年度実績	2年度実績	3年度計画		
		・用地取得 2,614㎡ ・橋りょう詳細設計 ・工事用仮設道路工事(その1) (H29繰越分) ・道路新設改良工事 154m ・工事用仮設道路工事		・JR調査協定 ・橋りょう下部工工事 2基 ・工事用仮設道路工事(その2) ・排水路改修工事 (H30繰越分) ・用地取得 174㎡ ・工事用仮設道路工事(その1)	・橋りょう下部工工事 2基 ・工事用仮設道路工事(その3) ・逢妻川護岸工事 (R1繰越分) ・JR調査協定 ・橋りょう下部工工事 2基 ・工事用仮設道路工事(その2)	・道路、橋りょう予備設計 ・橋りょう下部工工事 2基 ・道路改良工事 ・道路橋梁予備設計委託 (R2繰越分) ・工事用仮設道路工事(その3) ・逢妻川護岸工事 ・逢妻川護岸工事(その2)		
成果		JR調査協定により架設工法が決定し、詳細設計が完了した。橋りょう下部工4基が完了し、事業の進捗を図ることができた。						
課題		JRと工事協定に向けた協議を行う。						
指標名称（単位）			実績値		目標値			
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標		道路用地の面積取得率（%）		99.4	100.0	—	—	—
活動指標		道路整備率（%）		9.6	9.6	12.7	14.3	15.9
他市との比較検証								
C事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳
	事業費①		351,815	284,362	330,425	525,033	合計 330,424,904円	
	財源	特定財源	259,116	189,236	261,631	493,933	需用費 30,200円	
		一般財源	92,699	95,126	68,794	31,100	委託料 18,755,204円	
	職員人件費②		9,799	9,088	8,810	9,191	工事請負費 248,654,500円	
	総事業費(①+②)		361,614	293,450	339,235	534,224	公有財産購入費 43,068,000円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称		
2年度までの累積事業費		0		社会資本整備総合交付金				
4年度以降の事業費見込		0		都市交通施設整備基金				

会計名			市道01-40号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	市街地における交通渋滞が慢性化していることから、南北地区間の移動に時間を要している。また通過車両が生活道路に流入し、生活道路の交通安全の確保が危惧される状況であるため、これらの対策を講じる必要性が高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	長期的な展望から、（仮）南北縦貫道路の一部区間の整備を行い、将来的な道路網を形成するため、広く市民からの理解を得て事業を推進する。また、社会資本整備総合交付金を活用して道路整備を進める。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	バイパス機能を持つ道路整備を行うことで、交通の円滑化や市街地内の渋滞が緩和され、地域間の交流が活発になる。また市民の身近な道路の安全性が確保されることで、良好な住環境が提供できる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	道路整備により、既存の幹線道路の混雑緩和と生活利便性の向上が期待できる。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
橋りょう工事を進めるとともに、JRと工事協定に向けた協議を進めていく。					

会計名			市道01-41号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	スマートIC整備係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	スマートインターチェンジの整備に合わせた道路整備を行うことで、産業の生産性向上、交通渋滞の緩和、周辺地域の活性化、観光振興、防災機能の強化を図る。		主たる内容	市道01-41号線（起点：東境町石神～終点：東境町松ケ枝）の道路整備 延長 1,900m 幅員 5.5～30.0m					
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市計画マスタープラン							
			根拠法令	道路法						
		対象者	市民	事業期間	平成29年度～令和3年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		・駐車場改良工事 2箇所 ・用地取得 (H29繰越分) 3,124㎡ ・道路詳細設計 ・用地測量		・橋りょう工事 1橋 ・道路新設改良工事 90m ・用地取得 (H30繰越分) 20㎡ ・道路新設改良工事 120m ・ため池改修工事 1箇所		・道路新設改良工事 420m ・用地取得 (R1繰越分) 300㎡ ・橋りょう工事 1橋 ・道路新設改良工事 270m ・用地取得 100㎡		・道路新設改良工事 580m (R2繰越分) ・橋りょう工事 1橋 ・道路新設改良工事 420m ・ため池改修工事 1箇所		
成果		令和4年3月までの完成に向けて計画的に工事を進めることで、予定通り事業の進捗を図った。								
課題		スマートICの早期開通に向けて、関係者協議を迅速かつ適切に実施するとともに、工事を確実に進捗させる必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度			
活動指標		道路整備率（%）		0.0	11.1	47.4	100.0	100.0		
活動指標										
他市との比較検証		県内でのスマートIC箇所（実施中含む） ・豊田市（鞍ヶ池、豊田上郷） 名古屋市（守山） 日進市（東郷） 岡崎市（岡崎阿知和） 豊橋市（豊橋新城）								
C 事業コスト V		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費①		291,095	481,341	810,105	1,547,321	合計 810,105,216円			
	財源	特定財源	233,539	353,490	680,154	1,472,510	需用費	9,758円		
		一般財源	57,556	127,851	129,951	74,811	委託料	7,438,549円		
	職員人件費②		19,057	12,823	21,129	18,231	使用料及び賃借料	877,905円		
	総事業費（①+②）		310,152	494,164	831,234	1,565,552	工事請負費	764,624,200円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0		社会資本整備総合交付金						
4年度以降の事業費見込		0		ICアクセス道路補助金						
							都市交通施設整備基金			
							委託業務負担金			

会計名			市道01-41号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	スマートIC整備係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	本地域周辺は、日本の経済を牽引する自動車関連産業の大規模工場の集積地であり、この地域を通る幹線道路では、交通集中による慢性的な渋滞が発生し、物流交通や市民の生活活動を阻害しているため、スマートICを整備することで、道路環境を改善する。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	ICアクセス道路の整備に対する国の補助事業を活用することで、建設コストの低減に努めている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	現在供用している市道や公園内の通路を改良し、スマートICのアクセス道路を整備することで、事業の早期実現を目指し、地域間交通流動の円滑化や交通渋滞の緩和を促進する。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	高速ネットワークへの到達圏域が拡大することにより周辺地域が活性化され、産業生産性の向上、大型車減少による生活環境の向上、救援物資輸送や地域防災性が向上する効果がある。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止	
	スマートICの令和4年3月までの工事完了を実現するため、関係機関や地元との協議を適切に実施し、計画的に工事を進める。				

会計名			市道02-5号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	事業推進係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	県道宮上知立線の整備に伴い設置される交差点に接続する道路を整備することにより、県道に分断される地区の安全及び利便性を確保する。			主たる内容	市道02-5号線他（起点：一里山町伐払～終点：一里山町南本山）の道路整備 延長 2,300m 幅員 6.0～13.0m				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	道路法							
		対象者	市民		事業期間	平成26年度～令和8年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		・不動産鑑定評価		・道路詳細設計 ・用地測量 ・用地取得 3.5㎡ （H30繰越分） ・用地取得 655㎡		（R1繰越分） ・用地測量 ・道路詳細修正設計		・道路新設改良工事 120m ・用地取得 1,870㎡ （R2繰越分） ・道路新設改良工事 80m ・用地取得 4,230㎡		
成果		道路設計を行い、関係者と協議を進めることができた。 土地所有者との協議を行い、用地取得に向けた協議を進めることができた。								
課題		地権者交渉及び関係機関協議、道路工事を進める必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度			
活動指標	道路用地の面積取得率（％）		0.0	7.3	7.3	50.0	100			
活動指標	道路整備率（％）		—	—	—	8.7	43.5			
他市との比較検証										
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費 ①		1,231	55,980	16,960	311,094	合計	16,960,196 円		
	財源	特定財源	0	16,260	16,960	230,513	委託料	16,960,196 円		
		一般財源	1,231	39,720	0	80,581				
	職員人件費 ②		3,163	6,700	9,855	17,312				
	総事業費（①+②）		4,394	62,680	26,815	328,406				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0		繰越金						
4年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道02-5号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	県道宮上知立線により分断される地区の利便性及び安全を確保に必要な事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	県道整備の事業進捗に合わせて、用地購入、道路整備を進めていくため、効率的な事業進捗が図れる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民生活の利便性及び安全を確保するため、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	県道宮上知立線により分断される地区の往来が可能となる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
県道整備による市民の利便性を確保するため、整備区間に加え県道に並行する路線を整備し、交通の円滑化を図る必要がある。また、県道の事業進捗状況に合わせて事業進捗を図る必要がある。					

会計名			市道02-31号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	事業推進係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	依佐美地区工業用地の造成に伴い必要となる周辺道路を整備することにより、歩行者及び通学生徒への安全確保と交通の円滑化を図る。	主たる内容	市道02-31号線の道路整備（起点：半城土町庚申塚～終点：小垣江町上沢渡） 延長 870m 幅員 11.7～14.0m 交差点改良 2箇所 （庚申塚交差点、半城土大組交差点）						
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市計画マスタープラン、企業立地推進ビジョン							
		根拠法令	道路法							
	対象者	市民	事業期間	平成29年度～令和8年度						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績	2年度実績	3年度計画				
		・道路概略設計 ・用地取得 6,176㎡ （H29繰越分） ・交差点改良詳細設計 ・用地測量		・交差点改良工事 1箇所	・交差点改良工事 2箇所	・交差点改良工事 2箇所 ・用地取得 651㎡				
成果		交差点改良工事を実施し、スケジュール通り整備を進めることができた。								
課題		企業庁と協議調整し、スケジュールに遅れが生じないよう計画的な事業進捗を図る必要がある。								
指標名称（単位）			実績値		目標値					
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度			
活動指標		道路用地の面積取得率（％）		86.7	86.7	86.7	95.6	95.6		
活動指標		道路整備率（％）		—	12.3	12.3	80.5	80.5		
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		151,247	73,481	66,497	156,405	合計 66,497,426 円			
	財源	特定財源	7,848	43,989	51,313	117,700	工事請負費 65,584,200 円			
		一般財源	143,399	29,492	15,184	38,705	補償、補填及び賠償金 913,226 円			
	職員人件費 ②		4,012	1,964	2,539	3,616				
	総事業費（①+②）		155,259	75,445	69,036	160,021				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0		県費補助金						
4年度以降の事業費見込		0		県企業庁建設負担金 都市交通施設整備基金						

会計名			市道02-31号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	刈谷依佐美地区工業用地造成により増加する交通の円滑化と歩行者の安全を確保するため必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	企業庁と連携して整備を進めるため、効率的な事業推進ができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	工業団地整備に必要な道路整備は、工業団地整備を推進している市が行うことが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	工業団地整備を推進し、企業立地を促進させるため必要な事業である。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
企業庁による工業団地整備と同調し道路整備を行う。					

会計名			市道2-485号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	道路整備係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	道路を拡幅し歩道を設置することにより、歩行者の安全確保及び地域の住環境の向上を図る。		主たる内容	市道2-485号線（起点：銀座5丁目～終点：銀座4丁目）の道路整備 延長 212m 道路幅員 10.0m 車道幅員 7.0m 歩道幅員 3.0m 電線類地中化					
	位置づけ	関連計画 刈谷市中心市街地まちづくり基本計画、刈谷市無電柱化推進計画								
	根拠法令	道路法、無電柱化の推進に関する法律、電線共同溝の整備等に関する特別措置法								
	対象者	市民		事業期間	平成13年度～令和5年度					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		・道路新設改良工事 40m ・電線共同溝詳細設計		・地元説明会の実施 ・関係機関との調整 ・道路新設改良工事 130m		・電線類地中化工事 120m (R1繰越分) ・道路新設改良工事 130m		・電線類地中化工事 90m ・交通安全対策の検討		
成果		電線類地中化工事を行い、事業の進捗を図ることができた。								
課題		当該路線を含めた地区の交通安全対策を検討する必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度			
活動指標	道路整備率（%）		4.7	4.7	39.3	50.0	100			
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費①		18,068	0	96,680	155,438	合計	96,679,614円		
	財源	特定財源	0	0	64,107	103,852	委託料	20,920,900円		
		一般財源	18,068	0	32,573	51,586	工事請負費	58,034,900円		
	職員人件費②		1,234	1,656	6,421	5,801	補償、補填及び賠償金	17,723,814円		
	総事業費（①+②）		19,302	1,656	103,101	161,239				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0		無電柱化推進事業費補助金 都市交通施設整備基金 電線共同溝建設負担金						
4年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道2-485号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	生活道路を拡幅し、歩道を分離することにより、歩行者・自動車が安全に通行できる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	両側拡幅ではなく、南側拡幅とすることで、物件補償費が軽減できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民生活を安全かつ快適にするため、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	道路拡幅により、一方通行であった路線を交互通行とすることができるため、利用者の利便性が向上する。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
当該路線を含めた地区の交通安全対策を検討するとともに、道路整備事業の進捗を図る。					

会計名			市道2-496号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	道路整備係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	歩道・自転車道の整備							
	目的	伝統的な祭りである万燈まつり等、歴史・文化に配慮し、既存道路による歩車分離、電線類の地中化を行うことにより、歩行者の安全確保及び地域の住環境の向上を図る。	主たる内容	市道2-496号線（起点：銀座4丁目～終点：新栄町7丁目）の道路整備 延長 360m 幅員 11.0～17.5m 車道幅員 7.0m 歩道幅員 4.0m 電線類地中化						
	位置づけ	関連計画	刈谷市中心市街地まちづくり基本計画、刈谷市無電柱化推進計画							
		根拠法令	道路法、無電柱化の推進に関する法律、電線共同溝の整備等に関する特別措置法							
		対象者	市民	事業期間	平成15年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		(H29繰越分) ・道路新設改良工事 118m		(H30繰越分) ・道路新設改良工事 112m		・電柱抜柱跡復旧工事		_____		
成果		電線類地中化工事が終わり、電柱の抜柱が完了した。								
課題		未買収の用地がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標		道路用地の面積取得率（％）			94.4	94.4	94.4	94.4	94.4	
活動指標		道路整備率（％）			73.3	88.6	88.6	88.6	88.6	
他市との比較検証		_____								
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		103,902	55,508	1,392	0	合計	1,391,500 円		
	財源	特定財源	53,617	54,936	0	0	工事請負費	1,391,500 円		
		一般財源	50,285	572	1,392	0				
	職員人件費 ②		3,241	886	971	0				
	総事業費（①+②）		107,143	56,394	2,363	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
		2年度までの累積事業費		0						
4年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道2-496号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	道路を拡幅し、歩道設置、電線類の地中化を行うことにより、交通安全の確保、市民生活の利便性が向上する。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	道路整備に合わせて、電線類の地中化を図るため、効率的に事業進捗を図るとともに経費の節減が図られる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民生活を安全かつ快適にするため、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	電線類地中化を行うことで良好な歩行空間が確保され、市民が利用しやすい道路とすることで、中心市街地の活性化・地域生活基盤の向上が図られる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き、地権者交渉を進める。					

会計名			市道3-347号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	事業推進係、道路整備係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	工業用地の基盤となる道路整備を行うことで、企業立地の促進を図る。	主たる内容	市道3-347号線他（起点：野田町新田～終点：野田町大流）の道路整備 延長 620m 幅員 9.0m						
	位置づけ	関連計画 刈谷市都市計画マスタープラン、企業立地推進ビジョン								
		根拠法令	道路法							
		対象者	市民	事業期間	平成28年度～令和5年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		・用地測量		・用地取得 302㎡ （H30繰越分） ・用地取得 922㎡ ・道路新設改良工事 100m		・道路新設改良工事 200m （R1繰越分） ・用地取得 288㎡		（R2繰越分） ・道路新設改良工事 200m		
成果		道路用地をすべて取得することができた。								
課題		施設管理者と協議を行う。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度			
活動指標		道路用地の面積取得率（％）		0.0	80.4	100.0	—	—		
活動指標		道路整備率（％）		17.7	17.7	17.7	50.0	100.0		
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費①		12,911	48,398	35,106	62,689	合計	35,106,105 円		
	財源	特定財源	0	38,651	8,347	55,000	需用費	5,500 円		
		一般財源	12,911	9,747	26,759	7,689	委託料	1,051,798 円		
	職員人件費②		4,706	6,007	6,794	2,109	工事請負費	26,000,000 円		
	総事業費（①+②）		17,617	54,405	41,900	64,798	公有財産購入費	8,048,807 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	2年度特定財源名称					
2年度までの累積事業費		0	繰越金							
4年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道3-347号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係、道路整備係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	工場立地に必要な基盤をつくるため、道路整備の必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	工場立地可能な必要最小限の整備区間になっている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	工場立地を円滑に誘導するには、市が主体となって整備する必要がある。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	道路整備により工場立地が可能となり、工場用地が確保できる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
施設管理者と協議を行い、道路整備事業の進捗を図る。					

会計名			市道3-928号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	事業推進係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	愛知県が施工する県道小垣江安城線の周辺道路を整備することにより、県道により分断される地区の利便性及び安全性を確保する。			主たる内容	市道3-928号線（起点：小垣江町東高根～終点：小垣江町東山田）の道路整備 延長 270m 幅員 6.0～12.6m				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	道路法							
		対象者	市民		事業期間	平成30年度～令和6年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		・用地取得 160㎡		・道路改良工事 150m		・用地取得 2,430㎡		・用地取得 1,873㎡ ・道路予備設計（R2線越分） ・用地取得 738㎡		
成果		県道関連の用地買収を進めることができた。								
課題		用地交渉を進め、各種道路整備のスケジュールが遅れないようにする必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標	道水路用地の面積取得率（％）			3.5	4.2	58.9	100.0	100		
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト V	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費①		1,231	8,887	78,657	69,075	合計 78,656,777円			
	財源	特定財源	1,137	0	16,562	37,879	需用費 31,700円			
		一般財源	94	8,887	62,095	31,196	委託料 1,415,755円			
	職員人件費②		2,006	2,927	2,315	3,503	公有財産購入費 75,962,131円			
	総事業費（①+②）		3,237	11,814	80,972	72,578	補償、補填及び賠償金 1,247,191円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0		公共補償金収入						
4年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道3-928号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	県道小垣江安城線整備により分断される地区の利便性及び安全性を確保するため必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	県道整備の事業進捗に合わせて、用地購入、工事を進めていくため、効率的な事業進捗が図れる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民生活の利便性及び安全を確保するため、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	道路整備により、県道整備で分断された地区の往来が可能になる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
県道小垣江安城線の事業進捗状況にあわせて、用地取得、道路整備を進めていく。					

会計名			市道2-643号線他道路新設改良事業				担当部	建設部	
一般会計							担当課	道路建設課	
款	項	目					担当係	道路整備係	
8	2	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	目的 市役所北側地区の土地利用に合わせ、道路を整備し地域の交通安全を図る。	主たる内容	市道2-643号線他（東陽町3丁目）の道路新設整備 延長 113m 幅員 8.5m					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	道路法						
	対象者	市民		事業期間	平成26年度～令和3年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		_____		_____		・用地取得 706㎡ ・道路新設改良工事 60m		（R2繰越分） ・道路新設改良工事 60m	
成果		道路用地をすべて取得することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標		道路用地の面積取得率（％）			58.4	58.4	100	—	—
活動指標		道路整備率（％）			66.4	66.4	66.4	100	—
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費①		0	0	118,475	22,510	合計 118,475,439円		
	財源	特定財源	0	0	0	22,510	需用費 60,000円		
		一般財源	0	0	118,475	0	委託料 204,061円		
	職員人件費②		0	0	2,464	2,109	公有財産購入費 116,071,378円		
	総事業費（①+②）		0	0	120,939	24,619	負担金、補助及び交付金 2,140,000円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			市道2-643号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	歩道付きの道路を整備することで市役所利用者の利便性の向上と、地域住民の交通安全の確保が図られる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	東陽町名店街ビル周辺の土地利用の変化にあわせて事業を行い、用地取得費及び物件補償費の縮減を図った。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民生活を安全かつ快適にするため、公共性が高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	市役所利用者及び地域住民の利便性が向上すると共に、安全で円滑な交通が確保できる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止	
道路整備工事を行い、事業完了する。					

会計名 一般会計			橋りょう補強事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	2	4					担当係	道路整備係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防災						
		施策の内容	災害に強いまちづくり						
	目的	避難道路に架かる橋りょうの耐震化を促進し、地震発生後に市民が安全に避難するための経路を確保する。			主たる内容	○橋りょうの耐震化 対象橋りょう数 37橋			
	位置づけ	関連計画 地域防災計画、地震対策アクションプラン							
		根拠法令	道路法						
		対象者	市民	事業期間	平成24年度～令和7年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		・橋りょう耐震補強工事 3橋 （江川2号橋、新上納橋、折戸2号橋）		・橋りょう耐震補強実施設計 2橋 ・橋りょう耐震補強工事 3橋 （吹戸橋、庚申3号橋、神明橋）		・橋りょう耐震補強実施設計 4橋 ・橋りょう耐震補強工事 2橋 （築地用水3号橋、築地用水5号橋）		—	
成果		計画的に耐震補強工事を行うことができた。							
課題		橋りょう補強について関係機関と調整する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標		避難道路内の橋りょうの耐震化率（%）			45.9	54.1	62.2	62.2	64.9
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		33,602	42,224	25,829	0	合計	25,828,800 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	8,778,000 円	
		一般財源	33,602	42,224	25,829	0	工事請負費	16,221,700 円	
	職員人件費 ②		1,620	3,581	3,957	0	補償、補填及び賠償金	829,100 円	
	総事業費（①+②）		35,222	45,805	29,786	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			橋りょう補強事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備係
8	2	4			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	発災後、地域住民が避難所まで安全に移動できるよう、避難道路内にある市が管理する橋りょうの耐震化を行う必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	橋りょうの耐震化計画と長寿命化計画を調整することでコストの縮減を図り、効率的に事業を進めることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	刈谷市地域防災計画で、市の責務として「被災者等が迅速かつ安全に避難できるよう、通行確保に努める」としている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	災害に強いまちづくりを行うためには、避難道路に架かる橋りょうの耐震化が必要である。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
関係課と調整しながら、耐震補強工事を順次実施し、避難道路の機能確保に努める。					

会計名 一般会計		都市計画道路3・5・561高須線道路新設改良事業				担当部	建設部		
款	項	目				担当課	道路建設課		
8	4	3				担当係	事業推進係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	目的 道路を拡幅し、バリアフリーに対応した歩道を整備することにより、歩行者の安全確保を図る。	主たる内容	主たる内容 道路新設改良 延長 L=260m 幅員 W=18.0m 施工箇所 住吉町					
	位置づけ	関連計画	都市計画マスタープラン、都市交通戦略						
		根拠法令	道路法、都市計画法						
	対象者	市民	事業期間	平成24年度～令和10年度					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		_____		_____		・（都）高須線道路詳細設計 ・橋梁予備（修正）設計		・関係者協議	
成果		関連する工事、河川管理者との協議を進めることができた。							
課題		橋りょう整備に関して関係者と協議を進める必要がある。							
C 事業コスト	指標名称（単位）			実績値			目標値		
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
	活動指標	道路整備率（％）				0	0	0	
	活動指標								
	他市との比較検証								
C 事業コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費①		0	0	3,762	10,358	合計	3,762,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	10,358	委託料	3,762,000円	
		一般財源	0	0	3,762	0			
	職員人件費②		0	0	821	527			
	総事業費（①+②）		0	0	4,583	10,885			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			都市計画道路3・5・561高須線道路新 設改良事業		担当部	建設部
款	項	目			担当課	道路建設課
8	4	3			担当係	事業推進係
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	刈谷駅から近隣病院へ向かうバリアフリー路線として指定されている。また刈谷駅から南部へ向かう主要な道路であることから、誰もが安全に通行できる環境を構築する必要がある。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	近隣の学校用地の擁壁改築工事と同調することで、コストの縮減を図ることが可能となる。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市道の整備であり、道路管理者が行うべき公共性の高い工事である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	道路を整備することにより、だれもが不自由なく通行することができる。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
中心部から主要な病院や南部へ向かう主要な道路であることから、災害時にも不自由なく通過できるような整備が必要であり、今後の検討課題と考えている。						

会計名 一般会計		都市計画道路3・4・551刈谷環状線電				担当部	建設部	
款	項	目	線類地中化事業			担当課	道路建設課	
8	4	3				担当係	道路整備係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境					
		基本施策	道路・交通					
		施策の内容	歩道・自転車道の整備					
	目的	歩道内の電線類を地中に埋設することで、安全で快適な歩行空間を確保するとともに、発災時における緊急輸送道路としての機能を確保する。	主たる内容	都市計画道路刈谷環状線（起点：高松町1丁目～終点：住吉町3丁目）の道路整備 延長 474m 幅員 15.0m 電線類地中化 バリアフリー化				
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市計画マスタープラン、刈谷市無電柱推進計画					
		根拠法令	道路法、電線共同溝整備等に関する特別措置法、無電柱化の推進に関する法律、都市計画法					
		対象者	市民	事業期間	平成25年度～令和5年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績	2年度実績	3年度計画		
		(H29線越分) ・電線類地中化工事 147m		・電線類地中化工事 210m	・電線類地中化工事 175m	・電線類地中化工事 125m		
成果		各電線管理者等と協議し、道路整備（電線類地中化及びバリアフリー化）工事を行い、電線類地中化・バリアフリー化率の進捗を図ることができた。						
課題								
指標名称（単位）			実績値		目標値			
活動指標	電線類地中化・道路整備率（％）	30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
指標		27.5	48.7	66.4	75.2	100		
他市との比較検証								
C 事業コスト	単位：千円	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費①	127,868	132,934	175,410	157,933	合計	175,409,888円	
	財源	特定財源	98,549	88,794	107,136	94,491	委託料	29,507,500円
		一般財源	29,319	44,140	68,274	63,442	工事請負費	122,553,200円
	職員人件費②	2,469	3,196	3,957	4,068	補償、補填及び賠償金	23,349,188円	
	総事業費（①+②）	130,337	136,130	179,367	162,001			
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	2年度特定財源名称				
	2年度までの累積事業費		0	社会資本整備総合交付金 都市交通施設整備基金 電線共同溝建設負担金				
	4年度以降の事業費見込		0					

会計名 一般会計			都市計画道路3・4・551刈谷環状線電 線類地中化事業		担当部	建設部
款	項	目			担当課	道路建設課
8	4	3			担当係	道路整備係
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	電線類地中化は、緊急輸送道路の機能確保及び歩行者の安全で快適な歩行空間を確保する上で必要である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	電線類地中化に合わせて、歩道のバリアフリー化を実施することでコストの縮減を行い、効率的な事業進捗を図るとともに経費の節減が図られる。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	道路の改良事業であるため、道路管理者が行うべき公共性の高い事業である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	電線類地中化を行うことで良好な歩行空間が確保され、市民が利用しやすい道路とすることができる。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
引き続き、道路整備（電線類地中化及びバリアフリー化）を進める。						

会計名 一般会計			駐輪場整備事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	4	7					担当係	道路整備係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	駐車場・駐輪場の整備						
	目的	目的 自転車利用者の利便性の向上と違法駐輪を無くし、交通の安全と環境美化を図る。	主たる内容	駐輪場整備 刈谷駅北口周辺 東刈谷駅北口周辺					
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市計画マスタープラン						
		根拠法令	建築基準法						
	対象者	市民	事業期間	令和2年度 ~ 令和5年度					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		—		—		・自転車駐輪場測量設計		・刈谷駅北口第2駐輪場整備 ・刈谷駅北口第3駐輪場（仮設）整備	
成果		各管理者との協議を行うとともに、自転車駐輪場の詳細設計を実施した。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標		整備済駐輪台数（台）			—	—	—	500	600
成果指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	5,236	92,000	合計	5,236,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	53,000	委託料	5,236,000 円	
		一般財源	0	0	5,236	39,000			
	職員人件費 ②		0	0	3,584	2,938			
	総事業費（①+②）		0	0	8,820	94,938			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
		2年度までの累積事業費		0					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			駐輪場整備事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備係
8	4	7			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	駐輪場利用者の利便性向上、及び違法駐輪の削減のために必要な事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	計画的に事業用地の確保、駐輪場の設置を行っており、効果の確認ができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	駐輪場利用者の利便性向上を図るとともに、違法駐輪をなくす事により、安全で快適な歩行空間を確保するなど、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	駐輪場の新設・増設により、駐輪場が利用しやすくなるとともに、違法駐輪の減少と環境美化に繋がる。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		

会計名 一般会計			道路用地等管理事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	2	3					担当係	事業推進係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	取得済み道路用地等の草刈り、砕石敷均し等を行い安全面等の維持管理を図る。			主たる内容	取得した用地を整備実施するまでの期間、定期的に草刈を行う。また、必要に応じ安全面を考慮して砕石の敷均しを行う。			
	位置づけ	関連計画 根拠法令							
	対象者				事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		・道路事業用地管理（除草、のり面補修）		・道路事業用地管理（除草、砕石敷均し）		・道路事業用地管理（除草、砕石敷均し）		・道路事業用地管理（除草、砕石敷均し）	
		成果	道路用地として取得した土地の維持管理が適切に行われている。						
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		8,936	4,483	4,466	7,350	合計	4,466,000 円	
	財源	特定財源	93	292	1,095	1	委託料	3,696,000 円	
		一般財源	8,843	4,191	3,371	7,349	工事請負費	770,000 円	
	職員人件費 ②		1,620	886	373	203			
	総事業費（①+②）		10,556	5,369	4,839	7,553			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
		2年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料			
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			道路調査事業				担当部	建設部			
款	項	目					担当課	道路建設課			
8	2	3					担当係	事業推進係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境								
		基本施策	道路・交通								
		施策の内容	総合交通対策の推進								
	目的	安全かつ円滑な交通の確保、良好な景観の形成を図るため、道路等の基本的な計画調査を実施し、円滑な事業の推進を図る。					主たる内容				
	位置づけ	関連計画 根拠法令									
	対象者					事業期間	～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
	BDO 事業実績 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画			
		_____		・刈谷街道踏切対策検討 ・市道1-87号線他調査測量設計業務 ・刈谷市無電柱化推進計画策定		_____		_____			
		成果	各種検討を行い、今後の事業の進め方を検討することができた。								
課題											
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度			
活動指標											
活動指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	13,695	0	0	合計 0円				
	財源	特定財源	0	0	0	0					
		一般財源	0	13,695	0	0					
	職員人件費 ②		0	1,656	0	0					
	総事業費（①+②）		0	15,351	0	0					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称					
2年度までの累積事業費		0									
4年度以降の事業費見込		0									

会計名 一般会計			ウイングデッキ整備事業				担当部	建設部		
款	項	目					担当課	道路建設課		
8	4	3					担当係	事業推進係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	歩道・自転車道の整備							
	目的	刈谷市中心市街地まちづくり基本計画に基づく刈谷駅周辺の「人を引き寄せる回遊と賑わいのあるまちづくり」に向けて、安全で快適な歩行空間を形成する。				主たる内容	横断歩道橋整備 1か所			
	位置づけ	関連計画	刈谷市中心市街地まちづくり基本計画							
			根拠法令	道路法、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律						
			対象者	市民		事業期間	令和2年度 ~ 令和4年度			
			実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		_____		_____		ウイングデッキ整備負担金		ウイングデッキ整備負担金		
成果		関係者と協議を行い、事業の進捗が図れた								
課題										
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標	ウイングデッキ（横断歩道橋）整備						0	0	1	
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業 コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	0	5,330	361,501	合計 5,329,500 円			
	財源	特定財源	0	0	0	273,961	負担金、補助及び交付金 5,329,500 円			
		一般財源	0	0	5,330	87,540				
	職員人件費 ②		0	0	821	1,130				
	総事業費（①+②）		0	0	6,151	362,631				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0								
4年度以降の事業費見込		0								